ソーシャルデータ から読み取る 花粉症の脅威と 天候との関連性について

岡山県立邑久高等学校 情報解析グループ 鵜島 匠 東山 慎弥 太田 有哉

解析の動機

- 私たち自身花粉症に苦しんでいて、 より正確な花粉対策情報があると助 かるなと思いこの活用方法を考え た。
- ・ 花粉症に関する情報は花粉症患者 だけでなく、花粉症対策グッズを製 造、販売をする企業にも有益なので はないかと解析することにした。

研究の目的

- 客観的な数値だけでなく主観的な情報の統計も取れるBuzzfinderの特徴を利用して、より現実に則した情報を得ること
- ・「花粉」などのキーワードの抽出し、その数と気象条件を照らし合わせて花粉症への警戒を促すこと
- 既存の花粉情報よりも有効なものを発見すること

現状 ~近年花粉症患者が多い理由~

• 1950年代の大量植林

• 都市化の影響

• 日本人が健康になりすぎたから

現状 ~花粉症患者が増加する日~

・晴れた日

• 雨上がりの晴れた日

・気温が高い日

・風が吹く日

データ解析の方法

~解析の対象~

•「花粉」全般

•花粉症の諸症状

以上の2つの観点から解析する

データ解析の方法

~活用するSNSの特性~

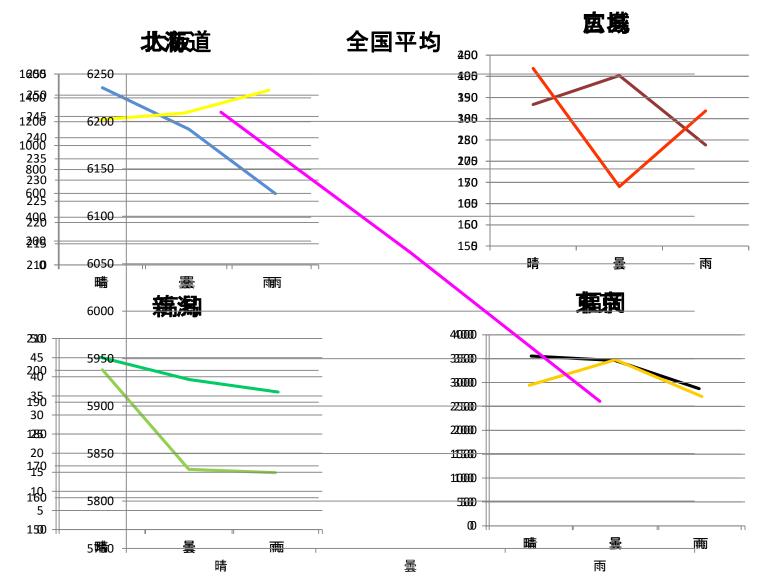
- ・小さな出来事でも気軽に書き込めるという点
- ・不特定多数の人が利用するという点

データ解析の方法

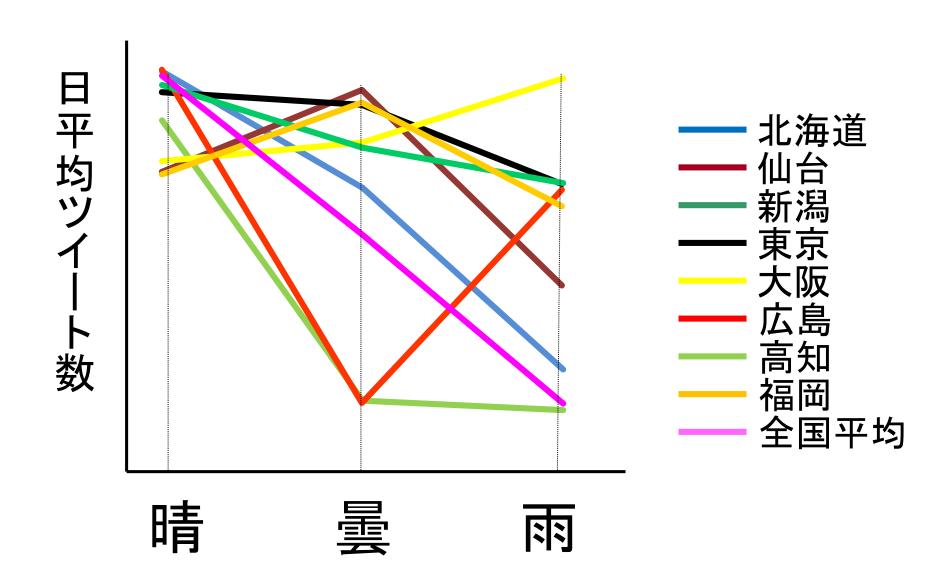
~解析の手順~

- 1. 日ごとにデータを抽出
- 2. データを地域ごとに分類
- 3. 気象条件と照らし合わせ、 グラフにする
- 4. 傾向を調べる

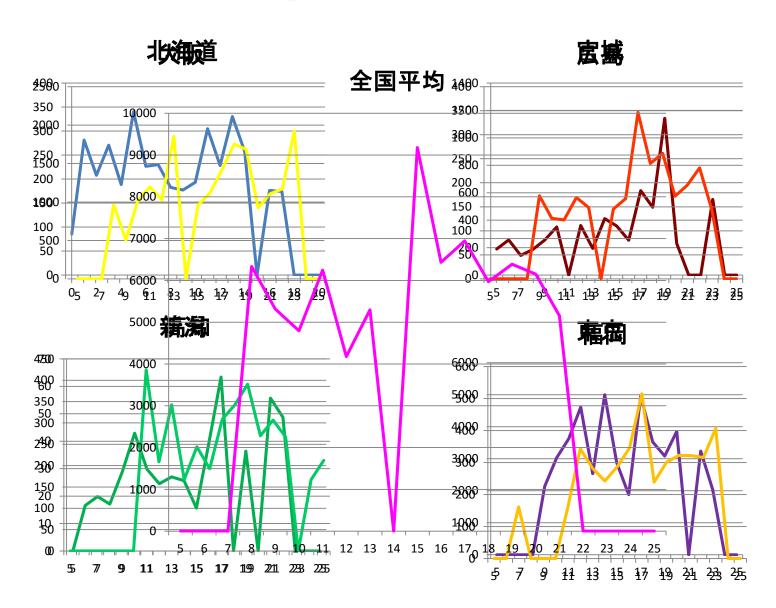
~天気との関係~

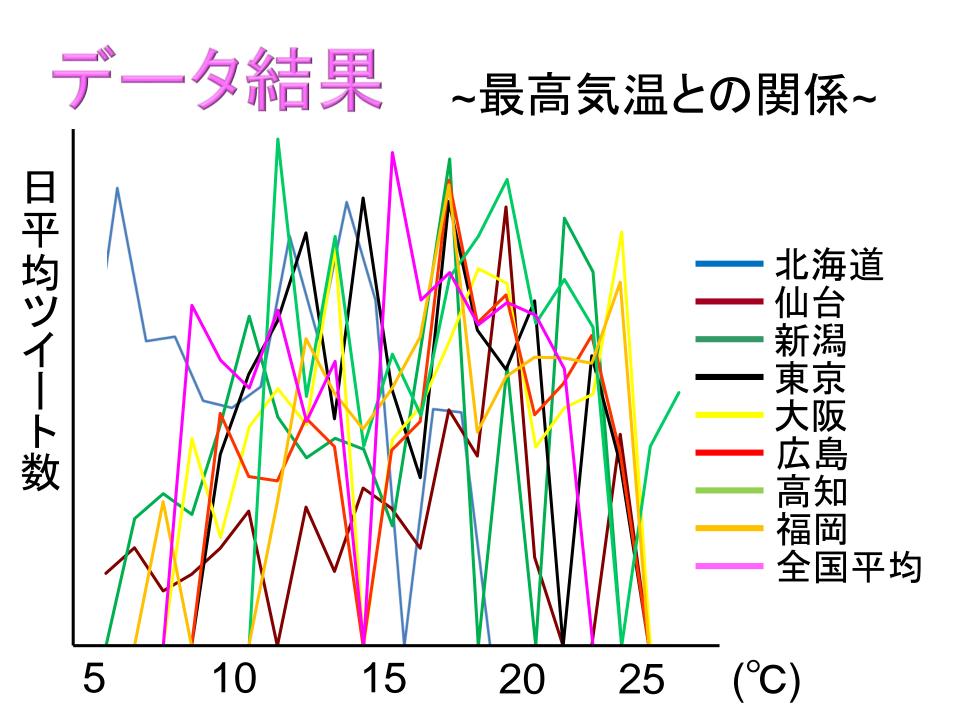


データ結果 ~天気との関係~

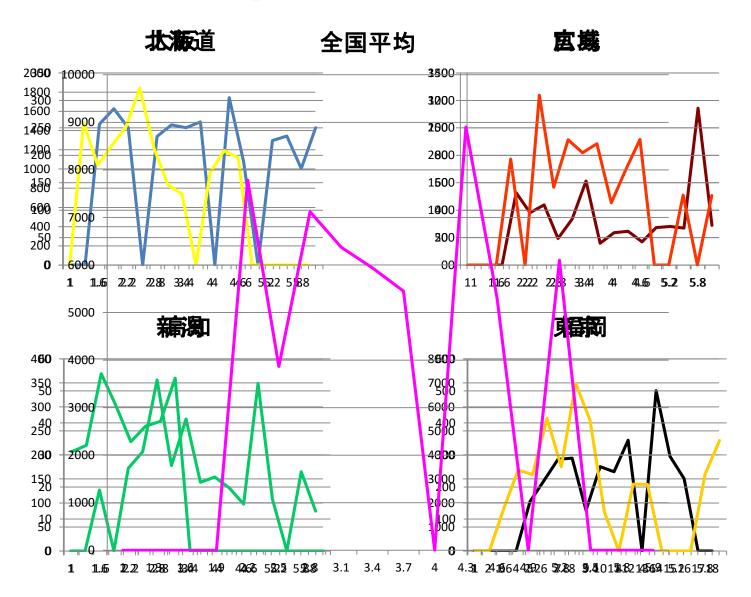


~最高気温との関係~

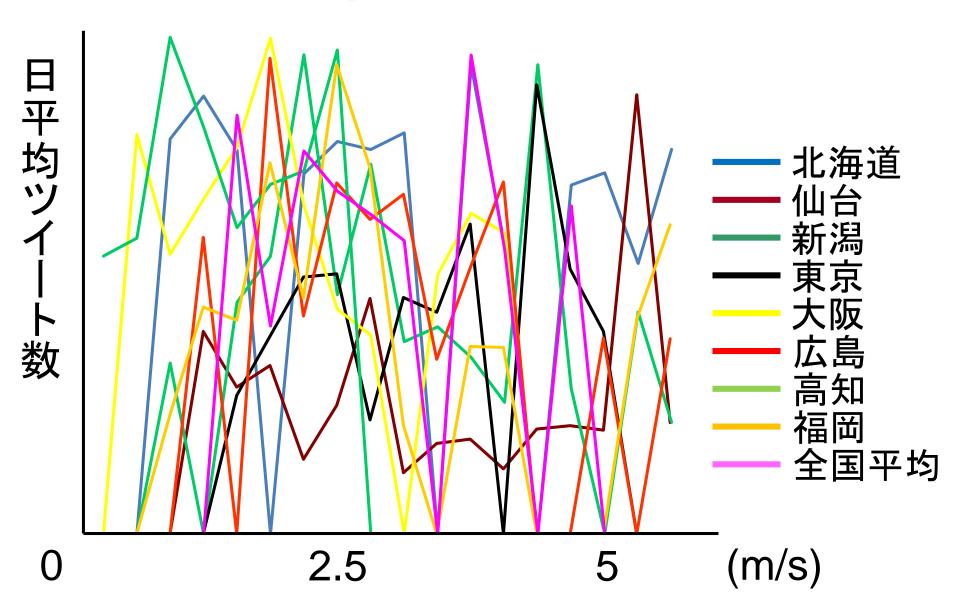




~平均風速との関係~



~平均風速との関係~



データ解析

上記のグラフから発症者の数は、

- ・晴れた日は全国的に増加傾向
- 雨だからといって必ずしも減少するとは限らない
- ある特定の温度で増加(一部地域を除く)
- ・風の影響は地域による

分析に足りていない点

・収集、分析したデータの量

• より詳細かつ精密な分析

• 見やすいグラフ

• アラート機能の活用方法

研究データの利用方法

- ・より使いやすいデータの収集 と活用が可能になる
- ・花粉症患者にとって行動選択のための大きな手助けとなる
- ・花粉症対策グッズの需要を推測しやすくなる

今後の課題

• 警告のボーダーラインの設定

• 天候と花粉症との関係の究明

・より商業的な活用方法の模索

参考文献·参考HP

気象庁

http://www.jma.go.jp/jma/index.html web R25 ビジネスマンを襲う現代病 第8回花粉症増加の原因はどこにある? http://r25.yahoo.co.jp/fushigi/report/?id=201 00421-00002101-r25&page=2 e-にんしん 花粉が飛びやすい日

http://www.ikujizubari.com/topics/2012/2_18 .html

ご清聴ありがとうございました